

企画展

米山より子展

Scenery evoked by water
Yoneyama Yoriko

水の遠景

2023 12/21 | 木 | — 2024 1/8 | 月・祝 |

入場無料

10:00-17:00 (入場は開催時間の30分前まで)

休館日: 12月25日(月)、29日(金)～1月3日(水)

会場: 東大阪市民美術センター 第1・2展示室、1階常設スペース

主催: 東大阪市民美術センター(指定管理者 東大阪花園活性化マネジメント共同体 HOS株式会社)

協力: 福西和紙本舗



東大阪市民美術センター

豊かな川と湖が 育んできた 水を巡る遠い景色

縄文時代、大きな湾だった河内平野は、弥生時代から古墳時代には大きな湖となり、仁徳期の治水事業を経て、5世紀以降に陸地化しました。川が多く水が豊かな半面、水害が頻発し、1704年には大和川の付け替えが行われました。特にこの地域では、江戸時代から水を動力にしてものづくりを発達させてきたことから、人々は水と寄り添い、向き合ってきたといえるでしょう。

造形作家・米山より子は、奈良県吉野の伝統的手漉き和紙との出会いを機に、水を媒体に紙、米などを素材として作品制作、発表を続けてきました。本展では、「水と米」「水と和紙」「水と鉱物」をテーマに、豊かな水を巡るこの地域の記憶を立ち上げ、水と人々との関係性を浮かび上がらせます。



《ふざいのそんざい》 2007年 Photo 矢野誠



《Cloth & Memory (2) Rice Dreams》 2013年 Photo 山崎慶子

1958年埼玉県生まれ。1983年東京芸術大学大学院美術研究科彫金修了。大学・大学院では伝統的金工技術を学ぶ。卒業後「境界」をテーマに金属、流木、写真等を素材として制作。2003年に伝統的手漉き和紙に出会い、金工技術を応用し、水を使って和紙の制作工程を遡る新しいマチュールを開発。水、紙、米などを素材として日本古来の美術技法を考察して制作を続ける。おもな個展に「こめのゆめ2010七ツ寺共同スタジオ」(2010年、あいちトリエンナーレ共催事業)、「ほどくかたち つむぐけしき」(2011年、名古屋美術館)、「日伊地震復興支援コンサート」会場展示(2011年、国立アルフレド・ガゼッラ音楽院/イタリア)、グループ展に「Cloth & Memory|2|」(2013年、Salts Mill/イギリス)、「つむぐけしき よむところ 米山和子・祖父江加代子」(2014年、古川美術館為三郎記念館/愛知)、「ポジション2016」(2016年、名古屋美術館)、Nagoya & Saint-Etienne Exhibition 「Cross-Textiles」(2017年、サンテティエンヌ・デザインビエンナーレOFF/フランス)、その他個展、グループ展多数。

関連イベント

アーティストトーク

12月23日(土)14:00~15:00

◇ 参加無料/申込不要

学芸員によるギャラリートーク

1月6日(土)14:00~15:00

◇ 参加無料/申込不要

和紙を使ったワークショップ

和紙を文字や形に切り抜いて、1階常設スペースのガラス面に水糊で貼っていきます。

12月21日(木)~1月8日(月・祝)

◇ 参加無料/申込不要・随時参加



《あめつちのうた》 2023年 Photo 山口幸一

※画像はすべて参考です。出展作品とは異なります。



米山より子

Yoneyama Yoriko

造形作家

アクセス：近鉄奈良線「東花園」駅より北へ約600m(徒歩10分)
東大阪市花園ラグビー場南側



指定管理者：東大阪花園活性化マネジメント共同体HOS株式会社
この事業は、「東大阪市第3次文化政策ビジョン：②文化施設の公共的役割の徹底(東大阪市文化振興条例第8条)」に基づき実施しています。



Instagram



Website

東大阪市民美術センター

〒578-0924 東大阪市吉田 6-7-22

TEL 072 - 964 - 1313